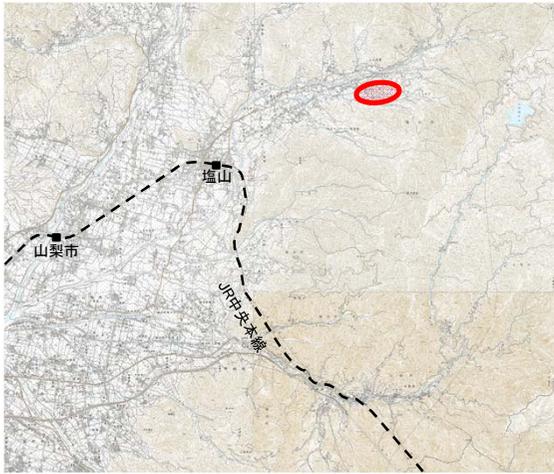


1. 事業評価説明シート

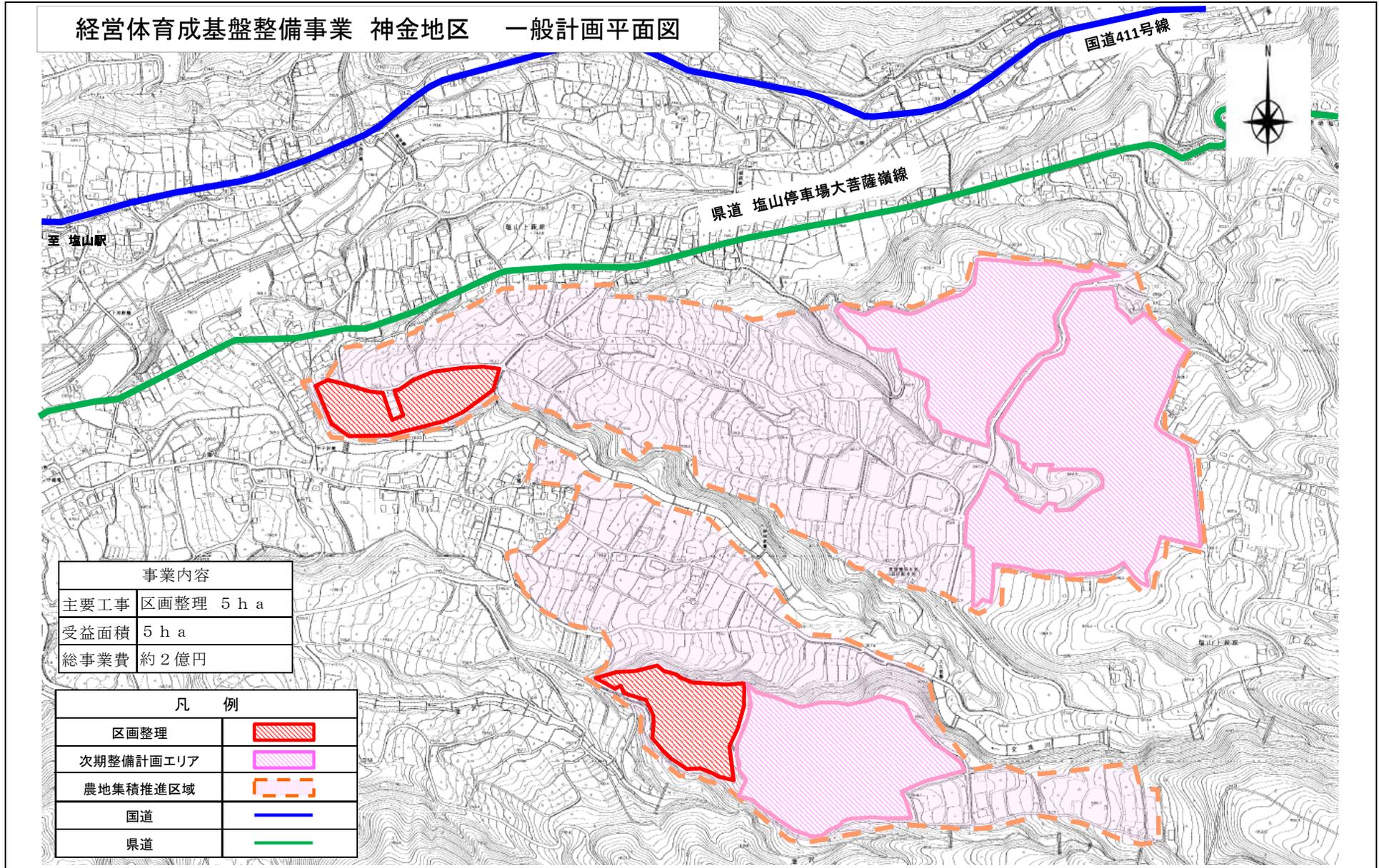
(区分) **国補**・県単

事業名 経営体育成基盤整備事業 (国補)	事業箇所 甲州市塩山上萩原地	地区名 かみかね 神金	事業主体 山梨県
-----------------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------

<p>(1) 事業概要</p> <p>①課題・背景</p> <p>本地区は塩山市北部の大菩薩嶺の西南斜面に位置し、もも・すももを中心とした果樹地帯である。標高が平均800mと比較的高いことから昼夜の寒暖差を生かした果樹を生産している。しかし、小区画、急勾配などの条件不利地を中心に、農業者の高齢化や地区外への移住などによる離農者も多いことから耕作放棄地が増加している。そのため基盤整備を実施し、営農効率の向上、耕作放棄地の解消を図り、中間管理機構を活用した担い手への農地集積を推進し、優良農地を確保するものである。</p> <p>②整備目標・効果</p> <p><input type="checkbox"/> 主要目標 ○農業生産力の向上 ・農業所得増加額 2,137千円/ha\geq810千円/ha※</p> <p><input type="checkbox"/> 副次目標 ○農業用排水能力の向上 ・施設老朽度 使用年数(30年)÷耐用年数(15年) = 2.0\geq1.0※ ・用排水能力向上率 (計画排水能力 0.15m³/s) ÷ (現況排水能力 0.10m³/s) = 1.5\geq1.0※ (※評価基準値)</p> <p><input type="checkbox"/> 副次効果 ○遊休農地の解消 ○重要プロジェクトとしての位置づけ(新やまなし農業大綱)</p>	<p>(3) 事業の妥当性評価 妥当・妥当でない</p> <p>①公共関与の妥当性(行政が行うべき事業か) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p> <p>・本地区の整備は食料・農業・農村基本法に位置づけられている、農業の持続的発展、食料の安定供給、多面的機能の発揮に資するものであり、行政が行うべきである。</p> <p>②事業執行主体の妥当性(県が行うべきか) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p> <p>・農地耕作条件改善事業実施要綱第4により県が事業主体となって行うべきである。</p> <p>③経済妥当性 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p> <p style="text-align:center">費用便益費 便益(B)/費用(C) = 1.4 > 1.0 ・便益(B) = 172.3百万円、・費用(C) = 123.7百万円</p> <p>④事業実施・規模の妥当性 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p> <p>・営農条件を改善する上で必要な整備量としている。</p> <p>⑤整備手法の有効性 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p> <p>・受益面積規模、事業対象工種から、農地耕作条件改善事業要綱・要領に基づき対応することが妥当である。</p> <p>⑥環境負荷への配慮 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p> <p>・工事の際は、環境等への影響を最小限にするよう措置を講じる。</p> <p>⑦事業計画の熟度 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p> <p>・早期着工の要望あり</p> <p style="text-align:center">総合評価 [貢献度ランク：a] <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p>
---	---

<p>(2) 整備内容</p> <p>①整備内容 区画整理 2箇所 A=5ha</p> <p>②着手年度 平成30年度 ③完成見込年度 平成34年度</p> <p>④総事業費 約2億円 (国費1.1億円(5.5/10), 県費0.6億円(2.75/10), 市費等0.3億円(1.75/10))</p> <p>⑤全体計画 (年度別整備内容) (事業費)</p> <table border="1"> <tr> <td>平成30年度</td> <td>測量・設計</td> <td>10百万円</td> </tr> <tr> <td>平成31年度</td> <td>区画整理</td> <td>80百万円</td> </tr> <tr> <td>平成32年度</td> <td>区画整理</td> <td>80百万円</td> </tr> <tr> <td>平成33年度</td> <td>区画整理</td> <td>20百万円</td> </tr> <tr> <td>平成34年度</td> <td>区画整理</td> <td>10百万円</td> </tr> </table> <p>⑥整備内容・期間・事業費 ・該当なし</p>	平成30年度	測量・設計	10百万円	平成31年度	区画整理	80百万円	平成32年度	区画整理	80百万円	平成33年度	区画整理	20百万円	平成34年度	区画整理	10百万円	<p>【事業位置図等】</p> 
平成30年度	測量・設計	10百万円														
平成31年度	区画整理	80百万円														
平成32年度	区画整理	80百万円														
平成33年度	区画整理	20百万円														
平成34年度	区画整理	10百万円														

2. 添付資料シート(1)



2. 添付資料シート (2)



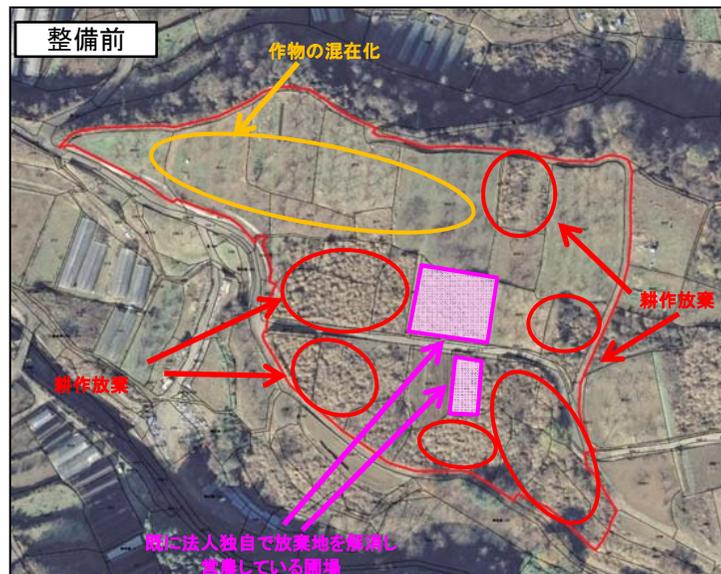
耕作放棄地が増加しており、作物も混在化している



幅員も狭く湾曲した耕作道(路肩を踏み外すと転落の危険あり)

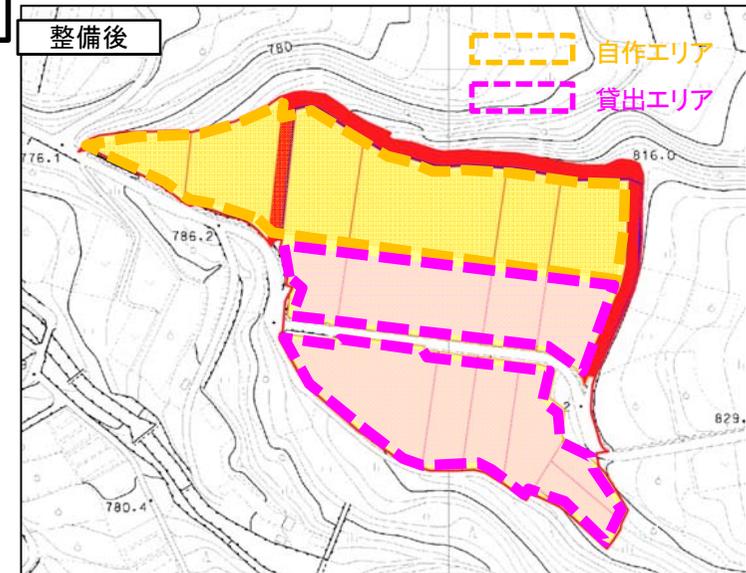


(整備後イメージ)
新たな担い手(参入企業)による醸造用葡萄栽培



小区画な圃場に、自作、法人参入圃場、耕作放棄地が入り乱れている

区画整理のイメージ



区画の大区画化を計画、自作エリア・貸出エリアを設定し
営農効率の向上と農地の集積・集約を図る